



新毎日新聞

11月9日(水)

2016年(平成28年)

発行所：東京都千代田区一ツ橋1-1-1
〒100-8051 電話(03)3212-0321
毎日新聞東京本社

第1弾として

相模原市
博物館
図書館
公民館へ

34

冊寄贈しました



相模原市立博物館で柏琳の翻刻全集を贈る
荒井徹さん(左)

柏琳翻刻全集を寄贈

荒井徹さん、相模原市に

江戸時代後期に相模
国磯部村(相模原市南
区磯部)に住んだ農民
の戯作者、仙客亭柏琳
(本名、荒井金次郎)
が著した草双紙3作の
現代文訳「仙客亭柏琳
翻刻全集」を出版し
た相模原市南区麻溝台
の日相印刷会長、荒井
徹さん(77)が8日、同
市に翻刻全集34冊を寄
贈した。市立博物館や

市立図書館、公民館で
閲覧できる。

全集には柏琳が書いた「花吹雪縁柵」など全3作を収録。木版刷り原文は崩し文字で句読点もなく、文章が斜めに飛ぶなどかなり読みづらい。荒井さんは専門家の協力で、原文に句読点やかきかっこを付けるなどして読みやすく直し、さらに

現代文に訳した。荒井さんは柏琳から5代目となる直系の子孫。「先祖の慰霊に」と翻刻に専念し、完成までに2年間を費やした。この日、市立博物館で寄贈本を手にした日本史専門の木村弘樹学芸員は「労作です」と出版までの労苦をねぎらった。全集は県立図書館や柏琳の草双紙を所蔵する専修、慶応、早稲田の各大学などにも贈られる。

【高橋和夫】